

授業サポート

JOTでは、臓器移植を題材とした「いのちの教育」の授業を様々な方面から支援しています。詳しくは、JOTのホームページや下記お問い合わせ先までご連絡ください。

①～⑤の教材及びセミナー、講師の派遣は全て**無償**です。

① 教材

●カード付リーフレット

記入方法の手引きとカードが一体になっています。全生徒分などご要望の枚数を送付します。



●think transplant

臓器提供者のご家族・移植経験者の手記をまとめた冊子です。

●普及啓発映像集

脳死の解説、移植までの流れ、臓器提供者のご家族・移植経験者の話などの資料映像です。

●教材映画「サクスレター」

15歳という年齢を迎える中学3年生が主人公の物語です。幼馴染の大地とひとみ、クラスの友人、それぞれの思いを題材にした教材です。道徳の授業を中心に活用いただけます。



●マンガ 道徳教材セット「つながるいのち」

中学生の道徳の授業を中心として小学校から高等学校まで幅広くご利用いただける教材セットです。教材セットは、マンガ映像、生徒用冊子、教師用手引書の3点から構成されています。

② キッズサイト いちから学ぼう。親子で話そう。みんなのための臓器移植

小学生～中学生向けに臓器移植の基礎知識をやさしく紹介するほか、クイズや臓器が出てくるARなど、楽しく学べるコンテンツも盛り込んでいます。



③ 臓器移植解説集

JOTホームページでは、臓器移植の概要や移植までの流れ、脳死についてを解説しています。また、プレゼンテーション用スライドをダウンロードできます。



④ 教育者向けセミナー

毎年、教職員を対象とした授業実施を支援するセミナーを開催しています。これまでの資料等はJOTホームページよりダウンロードできます。

⑤ 出前授業講師の派遣

臓器移植コーディネーターや医療従事者などの臓器移植関係者や実際に臓器移植を受けた方などの経験者を講師として派遣します。
※オンライン講義となる場合があります。



●東京の事務所にて学生訪問も受付中

課題や訪問目的に応じた講義をご提案できます。内容や時間などご相談ください。

●教育者向けコンテンツ

臓器移植 教育 検索



お問い合わせ先

JOT 公益社団法人 **日本臓器移植ネットワーク**
いのち、つなぐ。 〒108-0022 東京都港区海岸3-26-1 パーク芝浦12階

0120-78-1069 (平日 9:00～17:30)

臓器移植 検索

<https://www.jotnw.or.jp>



教職員の皆様へ



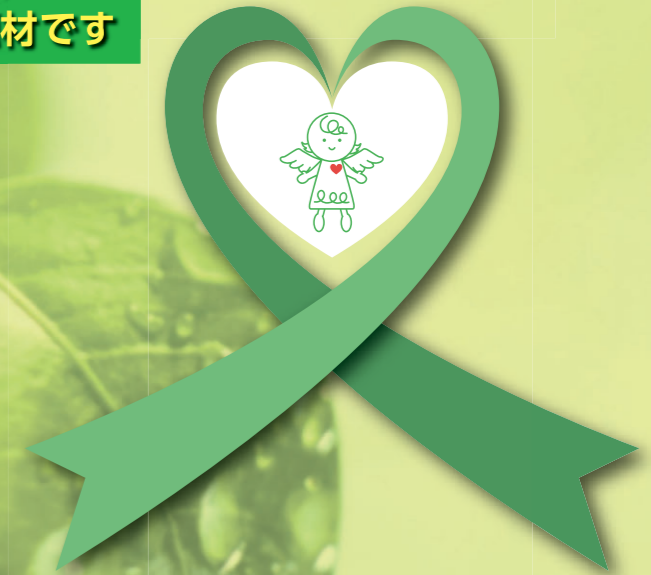
臓器移植を題材とした「いのちの教育」のご提案

「臓器移植」は、自他の生命の尊さを考え、子どもの多様な価値観の醸成に適した題材です

学校教育では、教育活動で「いのちを大切に教育」に取り組むことが強く求められています。現在使用されている中学校の道徳科教科書の多くでは、「臓器移植」を題材の一つに取り上げています。中学生にとって「臓器移植」について学ぶことは、自らのいのち、家族のいのち、他者のいのちについて考え、互いの価値観について知る機会になると考えられます。

このたび、臓器移植について分かりやすく説明している「いのちの贈りもの」(厚生労働省制作)が、全国の中学校に配布されました。ぜひ貴校での「いのちの教育」の教材として、様々な学習場面でご利用ください。

本リーフレットには、「いのちの教育」における臓器移植を題材にした指導について、学習場面での活用例やその解説を掲載していますので、ご参照ください。



全国の中学校に厚生労働省が配布



●臓器移植は「いのちの教育」の題材として活用されています

次ページよりカリキュラムでの活用の提案と解説を掲載しています。

●教材の無償配布や出前授業を行っています

日本臓器移植ネットワーク(JOT)では、道徳教材セットや臓器提供者のご家族・移植経験者の手記、映像教材の無償配布、臓器移植コーディネーターや実際に臓器移植を受けた方等の派遣(出前授業)など授業サポートを行っています。詳しくは、裏面をご覧ください。

「いのちの贈りもの」の学習場面での活用例



考えよう。話し合おう。

もし、自分や家族が臓器移植に……。正解も不正解もありませんが、いろいろな意見が出てくると思います。「あなた」はどうですか？よく考え、自分の考えを伝え、相手の考えを聞いてみましょう。

C いのちの贈りものから臓器移植を受けるかどうかを、自分や家族がどう考えるかについて話し合ってみよう。

どの気持ちも大切にしよう。

「臓器移植に関する学習場面」の活用例として、この教材が活用されています。

A P1 臓器移植ってなんだろう？

臓器移植とは、人が臓器を提供する側の「ドナー」と呼ばれる人が臓器を提供し、臓器を受け取る側の「レシピエント」と呼ばれる人が臓器を受け取ることを指します。

A 臓器移植が必要な患者さんはどれくらいいるの？

臓器移植が必要な患者さんの数は、年々増加しています。

B 臓器移植を受ける人の話

臓器移植を受けた人は、生活が豊かになり、心身の健康が回復しています。

D P5 臓器を提供した人の家族の話

臓器を提供した人の家族は、臓器提供の意思を尊重し、感謝の気持ちを込めて臓器を提供することを決めます。

D 臓器移植を受けた人の話

臓器移植を受けた人は、生活が豊かになり、心身の健康が回復しています。

E 臓器提供の意思表示

臓器提供の意思表示は、臓器提供の意思を尊重し、感謝の気持ちを込めて臓器を提供することを決めます。

A P1 臓器移植ってなんだろう？

P2 脳死と心臓死

臓器移植という治療法、脳死と心臓死との違いについて説明

理科の生命を維持する働きの学習や、保健体育の健康に関する学習などとの関連で生かす

B P1 移植が必要な患者さんはどれくらいいるの？

移植を希望している人の多さや、提供できる臓器について確認

理科、保健体育のほか、生命の尊厳や社会福祉の視点から、社会などとの関連で生かす

C P3 考えよう。話し合おう。

P4 あなたは考えたことがありますか？

誰もが死を迎えることを踏まえて、臓器を提供すること、移植を受けることについて、一人一人の自由な意思を基に考えを深めることの大切さを整理

家族の絆や生命の尊厳について考える題材として、国語、家庭、道徳などで生かす

D P5 臓器を提供した人の家族の話

P5 臓器移植を受けた人の話

移植経験者の体験談やサンクスレターを紹介

国語での作文や手紙の題材、道徳の感謝の心について考えを深める学習などで生かす

E P6 臓器提供の意思表示

臓器提供をどう考えるのかについて、意思表示をすることの大切さと、その方法について確認

道徳での生き方に関する判断力を高める学習等で生かす

各ページは、これらの教科等だけでなく、総合的な学習の時間での健康・福祉・生命などの横断的課題として、また、特別活動での健康生活の指導、健康安全・体育的行事、生徒会の実践的活動などで、広く生かすことができます

「いのちの教育」における臓器移植

今、私たちの周りで、いのちについて考えを深める機会が乏しくなっています。日常生活の中に疑似体験が広がり、リアリティのあるいのちを感じる機会も減っているからでしょうか。学習指導要領では、生命に対する畏敬の念や心身の成長発達や健康についての理解を深めることが重視され、「いのちの教育」の充実を図ることが求められています。臓器移植は、これらの課題に正面から向き合うことのできる題材として、多様な角度から生かしていくことができます。

- 臓器移植を生かすことの意義**
- 臓器移植をいのちの教育に生かすことには、次のような重要な意義があります。
 - 生と死の問題に直接向き合う……生と死の問題に正面から向き合い、それを自分の切実な現実問題として受け止め、迷い、葛藤し、議論を深めることができます。
 - いのちの見方を多面的に深める……いのちについては、さまざまなとらえ方があります。例えば、一人に唯一のかけがえないもの、世代を超えて連続するもの、共に高め合うものというとらえ方などです。臓器移植を生かす学習は、このような生命観をさらに揺り動かし、一層多面的、総合的に考えられるようにする力があります。
 - 生きることについて前向きに考える……臓器移植を題材にすることで、自己の生き方の実現、共生、感謝、家族愛、人間愛など、豊かに生きる上での価値観を深めることができます。救えるいのちがあること、一人のドナーが複数の人のいのちを救えることなどにも心を向けることは、いのちのもつ可能性をより幅広く、前向きに考えることにもつながります。

- 臓器移植を考える着眼点（例）**
- 臓器移植を生かす学習では、例えば、生徒の中に次のような問題意識が生まれます。その際、正確な情報を得て、それをもとに話し合えるように促すことが大切です。
- ア 臓器移植とはどんなものか。
 - イ 臓器移植の現状はどんなか。
 - ウ 臓器移植に生と死の問題がどのようにかわるのか。
 - エ 臓器移植法は、なぜ改正されたのか。
 - オ ドナー、レシピエントやそれぞれの家族にはどんな思いがあるのか。
 - カ 自分自身はこの問題をどう考え、それにどう向き合うか。

- 生かすことのできる学習場面（例）**
- 臓器移植は、次のように学校の様々な教育活動で生かすことが可能です。学校の実情やカリキュラムの状況などに応じて、その場を柔軟に着想してみたいものです。
- ◇各教科……例えば、国語科での討論の題材、社会科での医療や高齢社会の問題を考える資料、理科の内臓の働きの学習での発展的な教材、保健体育科の保健分野での健康や疾病の学習や家庭科での家族のかかわりに関する学習などの補助資料として生かしたり、それらをクロスさせた学習の中で取り上げたりすることが考えられます。
 - ◇道徳……道徳の時間においては、自他の生命の尊厳や、人間として生きることの気高さなどの道徳的価値に重ねて、充実した生き方について考えを深める学習が考えられます。
 - ◇総合的な学習の時間……教科の発展的、横断的な学習課題として、健康や福祉、生命倫理などの角度から臓器移植を直接取り上げ、深めることができます。
 - ◇特別活動……生徒会の中で自発的な活動を生み出したり、学校行事における「健康安全・体育的行事」などで臓器移植を扱ったりすることができます。

- 生かしたい多様な学習方法（例）**
- さらに、豊かに学ぶための学習方法をさまざまにイメージすることも大切です。例えば、次のようなアプローチを柔軟に生かすようにするとよいでしょう。
- ・関連機関などから必要な情報を取り寄せたり、Web上で得たりする。
 - ・臓器移植にかかわる人の体験談や考えなどを直接うかがう。
 - ・新聞記事やニュースなどの報道された情報を生かして考えを深める。
 - ・ワークシートに自分の考えを整理したり、各自の考えを表明し議論したりする。
 - ・家族や地域の大人を含めた様々な人の中での話し合いの場をつくる。 など

なお、学習に際しては、臓器移植への関心を深めることを第一とし、一人一人の意思を最大限尊重しながら進めることが大切なのは言うまでもありません。また、生徒それぞれに多様な家族環境もあることを踏まえ、配慮を欠かさないことも重要です。臓器移植にかかわる答えは一人一人の中にあるのです。ぜひ、生徒一人一人が臓器移植について知り、自分の問題として考えることのできる機会をつくってみましょう。